

古典的な資本主義精神と日本の資本主義精神間の対照記述

ジュリウス

0142014

マラナタキリスト教大学

日本語文学部学科

バンドン

2007

序論

一般的に資本主義はヨーロッパ諸国に始まり、それぞれの植民地に広まったものである。そのためヨーロッパ諸国の植民地では、ヨーロッパ的な資本主義が発展しているのである。

日本は、どこのヨーロッパの国の植民地になったことがないが、現在アジアだけでなく世界でも経済大国になっている。日本は自国の経済を成長させることに成功したのである。

上記の理由に基づき筆者は、ヨーロッパの資本主義の専門家ウェーバーやマルクスが論述するヨーロッパの古典的な資本主義と日本特有の資本主義の精神を 対照比較する。それらにいかなる同異があるか研究する。

日本の資本主義の精神に関しては、日本社会に世俗性を旺盛にした社会道徳を生み出した仏教の教えに関する。新解釈を持ち出した鈴木正三（日本資本主義の第一人者）の考え及び日本人のエトス人生の価値観を探究する石田梅岩の考えを採用する。

古典的な資本主義の精神と日本の資本主義の精神を対照比較することにより、正三及び梅岩の考えが資本主義的な価値があり、日本の資本主義の精神がユニークであることを立証する。

本論

資本主義精神は単ヨーロッパの思想家によって持ち出されたものだけでなく、日本の思想家による独特なものもあるのである。日本学者、山本七平によれば、日本という国家にとって、江戸という時代（1603-1868）が最も重要な時代である。当時代では、日本の社会は、独特の社会制度を築いたのである。当時代の社会が現代の日本の社会と芝通性を有しているだけでなく、現代の日本社会の構築土台となっているのである。この時代において、他の国民族を模倣せず、日本の思想家たちは自力で自分たちにある資料を利用して自国を建てようとしていたのである。

現代の日本は、江戸時代の重要人物らの構想によって建てられ、発展してきたのである。日本の資本主義の精神の土台となるのは、鈴木正三及び石田梅岩の考えである。

日本の資本主義の精神の土台となる梅岩の考えは次のようなものである。

1. 商業は単なる業でなく、そこから得に利益も非なるものではない。
2. 経済活動において、商人が得る利益は、妥当なものである。
3. ただし、利益を取るには、正直さが必要であると強調している。
4. 経済的に豊かな人間は儉約するべきである、儉約は正直さの具現であるからである。

5. 国家は家族である、したかつて親に対する忠誠、忠実は大量、国家に対する忠誠、忠実である。

一方、日本の資本主義精の土台となる正三の考えは次の通りである。

1. 何の事業も皆仏行なり。人々の所作の上ををひて、成仏したまふべし。仏行の外なる作業有べからず。一切の所作皆もって世界のためとなる事をもつてしるべし。仏体をうけ、仏性そなはりたる人間。意（心）得あしくして、好んで悪道に入ることなかれ。

四民日用において正三は次のように述べる。

2. 農業に関して：

“農業則仏行くなり、意得悪しき時は賤業なり。信心堅固なる時は、菩薩の行なり。暇を得て後世願わんと思は誤りなり。かならず成仏をげんと思人は身心を責む。楽欲する心有りて、後世願人は万劫を経るとも成仏すべからず。”

3. 武士の仕業に関して：

“武士は万民の秩序を守るべき任務を持つ人である。理を正し、義を行て、かつ不動の心を義う身を捨てて主君に仕えるのが武士のあるべき道として。。。 ”

4. 工(職人)に関して：

“仏教の教えに測り、全心全霊をささげる工職人は、世に豊富に、利益のあるものを生み出す。”

5. 商業に関して：

“売買をせん人は、まず得利の益すべき心づかひを修行すべし。その心遣といふは他の事にあらず。身命を天道に擲て、一筋に正直の道を学べし。正直の人には諸天のめぐみかく、仏陀神明の加護有て、災害を除き、自然に福をまし、蕩尽愛嬌麻からずして、万事心に叶ふべし。私欲を専らちして、自他を隔て、人を抜きて利得を思人には、天道のたたりありて、過をまし、万人の憎を受け、眾人愛敬なくして万事心に叶ふべからず。私欲の念をすて売買の作業は国中の自由をなさしむべき役人に、天道よりあたへたまふ所他と思定て、この身は天道に任て得利を思ふ念を休み、正直の旨を守って商せんには、火のかはけるにつき、水の下れるに隋て、ながるごとく、天の福、相応して、万事、心に叶ふべし。”

結論

上記に述べたことから次の結論を引き出すことができる。資本主義の精神は、プロテスタン派を源にするヨーロッパの古典的なものだけでなく、心学及び神派仏教に由来する。日本の独自の資本主義の精神がある。両者には人類した点もあるが、日本のそれには、ユニークさがある。世界経済面において日本は、英国、フランス、イタリア、ドイツ肩を並べることができるようになったが、その資本主義の精神は同一のものではないのである。

RIWAYAT HIDUP PENULIS

1. DATA PRIBADI

Nama : Julius Fitzgotlieb
Tempat/Tanggal Lahir : Jakarta, 31 Agustus 1982
Jenis Kelamin : Laki-Laki
Agama : Kristen
Anak Ke : 1 dari 2 bersaudara
Alamat : Bandung
Kewarganegaraan : Indonesia
Nama Ayah : Wempie Kojongian (alm)
Nama Ibu : Joyce Florence

2. PENDIDIKAN

1988-1994 SD : Sekolah Dasar Mardi Yuana 2 Bogor
1994-1997 SLTP : Sekolah Lanjutan Tingkat Pertama Mardi Yuana 2 Bogor
1997-2000 SMU : Sekolah Menengah Umum Regina Pacis Bogor
2001-2007 : Mahasiswa Universitas Kristen Maranatha Fakultas Sastra
Jurusan Sastra Jepang Bandung